

令和5年 上富良野町議会第3回定例会

一般質問 質問事項一覧

届出順	氏 名	質 問 事 項
1	5番 金子 益三	<ol style="list-style-type: none"> 1 年収の壁による労働力不足に対する対応について 2 今期の除排雪体制について 3 陸上自衛隊と上富良野町のつながりについて
2	3番 湯川 千悦子	<ol style="list-style-type: none"> 1 公園の環境整備について 2 各小中学校へのエアコン設置について
3	8番 中瀬 実	<ol style="list-style-type: none"> 1 公営住宅の維持管理と今後の方向性について
4	2番 荒生 博一	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症対策について 2 上富良野町の文化・歴史の継承について
5	4番 米澤 義英	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校における暑さ対策について 2 物価高騰対策について 3 特別養護老人ホームのエアコン設置について 4 河川の維持管理について 5 マイナンバーカードについて
6	9番 島田 政志	<ol style="list-style-type: none"> 1 第8次上富良野町農業振興計画について

一般質問通告書(令和5年9月定例会)

氏名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 5番 金子 益三 1 年収の壁による労働力不足に対する対応について (町 長)</p>	<p>最低賃金が令和5年は過去最大の値上げ幅である前年比4.35%アップで960円と聞いている。最低賃金値上げは大変良いことであるが一方で、そのことより、年収103万円の壁、106万円の壁、130万円の壁、150万円の壁と呼ばれる所得税課税、社会保険加入、配偶者控除適用外、配偶者特別控除の減少などの懸念がある。それらに対応するには労働時間の縮減などを図ることも考えられ、そのことにより労働人口が減少する昨今において勤務に従事する人口減少につながる恐れもある。</p> <p>政府はこれらに対応するために、今年10月から、まずは年収106万円を超えるパート勤務者に対し一人当たり最大50万円の助成を行うことを前倒しした。そこで次の点について町長の見解を求める。</p> <p>(1) いわゆる「年収106万円の壁」に対応する企業に対し一人当たり最大50万円の助成金は年収106万円を超えた収入の本人が社会保険加入の条件となりそのことに対し、労働時間等を削減しなくてもいいように助成がされるものである。しかしながらこの助成金を受ける資格を有するためには101人以上の雇用がある会社、週20時間以上勤務、2か月以上雇用見込みなどの条件がある等である。</p> <p>我が町の中小企業で勤務されるパートの方への対応は残念ながらこの制度は早くても2024年10月以降との提示があるが、町独自でこれに準じた助成制度を設けることは考えないか。</p> <p>(2) 現在上富良野町においても、正職員のみならず、再任用職員、会計年度任用職員（フルタイム職員、パートタイム職員）等それぞれが職責をはたしながら勤務していただいている。</p> <p>そこで伺いたいのが、今回の年収の壁に対して国が助成を行うのは一般企業だけなのか、行政職で勤務されるパート職員にも適応されるのかを伺う。もしも行政職で勤務されるパート職員がこれらの助成対応がなされない場合に不利益とならぬように対応を考えるか伺う。</p>
<p>2 今期の除排雪体制について (町 長)</p>	<p>令和4年度の当期除排雪状況については、町民の方々からのご指摘が大変多く私のところにも聞こえてきた。もちろん日々早朝より休みを削って活躍されているオペレーターの皆さまには称賛の声が多かった。</p> <p>一方で年内の街中の排雪が行われなかったことや、その後の排雪作業の進捗状況に際して町長はどのように感じられたのか。高齢社会において除排雪は住民のライフラインであり、また経済活動においても生命線でもあることをご理解いただいているのか。特に近年は気候変動により夏場のゲリラ豪雨や冬季の</p>

	<p>局所的な暴風雪への対応が多様化していることも理解するが、抜本的な対策を考える時期と考え次の点について伺う。</p> <p>(1) 除排雪に際して年度当初よりトラック及び重機のオペレーターを含めた配置予算を確約して対応する考えはないか。</p> <p>(2) 近年の灯油高騰、人件費の上昇に伴い現状の前年予算ベースでの予算計上は今後厳しくなると予想される。経費率の見直しによる積算法を対応しないか、また労働力不足の2024年問題へ対応できるあり方について抜本的改革が必要と考えるが。</p> <p>(3) 高齢者の自宅玄関間口に除雪等によって堆積された重たい雪を、高齢者世帯や独居老人宅等の除雪弱者への個別対応についてどのような対策をお持ちなのか。</p>
<p>3 陸上自衛隊と上富良野町のつながりについて (町長)</p>	<p>今年68周年を迎えた陸上自衛隊上富良野駐屯地と上富良野町の関係は、今更言うまでもなく上富良野町のまさに命綱であると言える事は町長も理解されていると思う。この間様々な部隊改編がありながらも強靱な駐屯地として幾度も新編部隊が上富良野駐屯地に加わり現在は19の部隊を有する上富良野町との力強い絆は、駐屯地のみならず多田弾薬支処や演習場も含めた町と防衛省との絆で何よりこの地でご勤務されている部隊の隊員諸官との固い絆であり一朝一夕に築かれたものではなく、町と部隊勤務をされた多くの諸先輩の皆さまのたゆまぬ努力の結集であることを忘れてはならない。</p> <p>昨年から安全保障3文章が発令され防衛費も増額となりこのことにより装備品の充実もさることながら、それらを扱うための人員、いわゆる隊員諸官の処遇改善にも大きく配分が必要であることは町長もご承知のことと察する。</p> <p>加えて残念ながらこの間過去の防衛大綱において、戦車・火砲の削減計画が上がり時の町長を先頭にして富良野地域自衛隊協力会として様々な活動を行ったが、昨年从上富良野駐屯地は大きな削減がされている現状である。そこで次の点について町長に考え方を伺う。</p> <p>(1) コロナ禍も収まりを見せ2類から5類へと移行したことにより以前のコロナ禍とは違い昔のように部隊と協力会とのお付き合いが戻り始めてきたが、自衛隊と地域との共存共栄をまちづくりの大きな柱の一つとしている本町にとって、アフターコロナ、ウィズコロナとして更なる町と部隊との絆の深化に向けた方策はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 上富良野駐屯地は、これまで様々な部隊改編を繰り返し現状の規模に繋がっている。町長は防衛大綱、中期防衛力整備経過計画に伴う動きの中で、今後の上富良野駐屯地及び上富良野演習場をどのように捉え、その動きに対しどのように対応しようとお考えか。</p>

<p>2 3番 湯川 千悦子 1 公園の環境整備について (町 長)</p>	<p>(1) 上富良野八景を目当てに日本各地からの観光客が来町しておりますが、コロナ感染症も5類となり、今年は更に観光客の増加が見受けられる。今回、選挙の遊説最中に千望峠の休憩所に立ち寄ったところ、トイレについて観光客の方々からご指摘を受けた。トイレは北海道の管轄であるが、せっかく上富良野に来て頂き、ファンになってリピーターになって頂いた方々にマイナスイメージを持たせることの無いよう、早急に町としてトイレの整備の必要があると考えるが、整備はしないのか。</p> <p>(2) 島津公園のトイレは自動ドアが随分前より破損しており、取り外された状態になっている。21時にはシャッターでの施錠をしているが、内側のドアがないためガ等の駆除が大変と聞いた。そこで、防犯の面からも、簡易式の油圧ドアの設置が必要であるので早急な対策が求められるがいかがか。また、島津公園の街路樹の樹齢が進み、保育園側に張り出している。落葉などにより迷惑がかかるので剪定の予定はあるのか。</p>
<p>2 各小中学校へのエアコン設置について (教育長)</p>	<p>近年の温暖化による気温の上昇が問題になっているが、特に今年は35度を超える日が続き、児童生徒の熱中症対策の観点を鑑み、各教室にエアコンの設置が急がれると考えるが、整備はしないのか。</p>
<p>3 8番 中瀬 実 1 公営住宅の維持管理と今後の方向性について (町 長)</p>	<p>公営住宅は国及び地方公共団体が協力して健康で文化的な生活を営むに足りうる住宅を建設し、これを住宅に困窮する低額所得者に対し、低額な家賃で賃貸することが目的とされている。</p> <p>上富良野においては、管理戸数 389 戸、8 団地（東中含むと 9 団地）、77 棟あると承知しているが、そこで伺いたいのは</p> <p>(1) 上富良野町の公営住宅建設は泉町 5 号棟建設が最後の予定か。</p> <p>(2) 公営住宅の居条件についてどのような人が入居できるか</p> <p>(3) 入居者の苦情に対する対応は</p> <p>(4) 管理計画はどのように行っているのか</p> <p>(5) 古い公営住宅の今後の対応は</p> <p>以上5点について伺う。</p>

<p>4 2番 荒生 博一 1 熱中症対策について (町 長) (教育長)</p>	<p>環境省と気象庁は本年8月24日、熱中症警戒アラートを、おととしの運用以来、宗谷地方と釧路・根室地方に初めて発表されるなど、北海道の8つの地方すべてに発表した。また、札幌市では8月23日には1876年の統計開始以降、観測史上最高となる36.3度を記録した。</p> <p>当町においては、8月24日36.4度、8月25日35.1度の猛暑日が続き、町内の小中学校では臨時休校の措置が取られた。</p> <p>8月22日には伊達市の小学校2年生の女兒が熱中症の疑いで死亡するなど痛ましい事故も起きており、近年の地球温暖化の影響により昨今は、夏の北海道は涼しいなどといったイメージからはかけ離れた記録的な高温となっている。</p> <p>そこで、上富良野町の熱中症対策について当面の対策、及び中長期的な対策について以下3点町長と教育長に伺う。</p> <p>(1) 先に申し上げた当町の小中学校の2日間の臨時休校措置や、伊達市の小学校2年生の女兒の痛ましい事故などを受け、当町の小中学校における当面の熱中症対策を教育長はどのように考えているのか。</p> <p>また、中長期的な対策として、各教室などにエアコンの設置など具体的に町長はどのような対策が必要と考えているのか伺う。</p> <p>(2) 熱中症警戒アラート発表時の熱中症予防行動例として、身の回りの暑さ指数いわゆるWBGTを確認し、行動の目安とすることになっているが、現在、小中学校ではWBGTの確認作業は何を基準に行われ、どのような作業を経て各家庭に伝達されているのか、一連の流れについて教育長に伺う。</p> <p>(3) 高齢者施設や病院、また公共施設においても熱中症対策が必要と考えるが、当面の対策及び、中長期的な対策をどのように考えているのか町長の見解を伺う。</p>
<p>2 上富良野町の文化・歴史の継承について (町 長) (教育長)</p>	<p>過去から学び、今日のために生き、未来への希望を持つという、アインシュタインの言葉からも、過去から学び、今日をしっかりと生きたなら、それが素晴らしい未来へとつながる。この言葉からも、歴史を大切に、後世に伝えていくことが重要である。</p> <p>明治30年、三重団体長である田中常次郎一行が入植し今年126年目となる上富良野町は、これまでに昭和32年に町章が制定、昭和42年に町民憲章の制定、昭和56年に町花ラベンダーと町木アカエゾマツの制定がされているが、現在、伝承されていないことを憂いている。</p> <p>そこで以下4点について町長に伺う。</p> <p>(1) 上富良野町の町章、町民憲章、町花、町木は現在どのような場面で伝承されているのか伺う。</p> <p>(2) 昭和42年発行の上富良野町史、平成9年発行の100年記念誌、平成13年発行のかみふらの50年のあゆみ、の3記念誌は、上富良野町の歴史を伝えていくうえで大変重要なものである。今後、十勝岳噴火100年や、150年などの節目を迎えることになるが、町の歴史をどのように保存することを考えているか伺う。そして上富良野町誌の今後の発行予定は。</p> <p>(3) 現在、歴史を伝承していくうえでの大切な資料の保存はどのように行っているのか。また、保存の基準は明確になっているのか。そして担当課はどうなっているのか伺う。</p> <p>(4) 上富良野町の機関誌「郷土をさぐる」は、町民有志が手を挙げて42年継続して行っており2023年の本年、第40号が発行された。町として歴史の保存の観点から、今後もずっと続けていくためにどのような支援が考えられるか伺う。</p>

<p>5 4番 米澤 義英 1 学校における暑さ対策について (教育長)</p>	<p>地球の温暖化で集中豪雨により土砂が流れ家屋が流され記録的な暑さで教育現場においては子供たちの熱中症対策に追われる状況にある。 また、北海道教育委員会では学校における熱中症対策の通知を出している。町でも子供たちの健康を守るために臨時休校を余儀なくされている。教育現場、保護者や子供たちからも暑さ対策のエアコンの設置を望む声があるが次の点について答弁を求める。 (1) 各学校へのエアコンの設置計画について (2) 暑さで体調不良になった子供の現状と学校における熱中症対策のマニュアルについて</p>
<p>2 物価高騰対策について (町 長)</p>	<p>収束の見通しが無い燃油価格の値上げや食料品などの物価高騰が町民の暮らしを苦しめている。帝国データバンクの価格改定動向調査では、今年度の値上げ品目数は30,710品目で、昨年の値上げ数を超えていると指摘している。町においても多くの町民が物価高騰に不安を感じながら生活をしている。今後も消費を喚起する支援、燃油高により困っている人への福祉灯油の実施、給付型の支援策が必要と考えるが対応について伺う。</p>
<p>3 特別養護老人ホームのエアコン設置について (町 長)</p>	<p>この猛暑で体調の悪化で病院に搬送される町民も出てきている。ラベンダーハイツの入所者の多くは自ら体調管理をすることができない人が多く家族からエアコンの設置を望む声があるが、入所者の命と健康を守るためにも今後の対応について伺いたい。</p>
<p>4 河川の維持管理について (町 長)</p>	<p>近年では気候の変動により集中豪雨で河川が氾濫し家屋が流される被害が出ている。ヌッカクシフラヌイ川、富良野川、コルコニウシベツ川などの河川があるが河川には雑木が茂っているところもある。住民からは大雨などの自然災害に備えるためにも雑木などの伐採の声があるが対応について伺う。</p>
<p>5 マイナンバーカードについて (町 長)</p>	<p>マイナンバーカードと保険証を一体化したことで誤って他人の個人情報が記録されていたケースが8,441件あったとされている。また、健康保険証を廃止する政府の方針について、毎日新聞の調査では「廃止すべきでない」「廃止を延長すべきだ」との回答が合わせて66%あったと報道している。マイナンバーカードと一体化した保険証に他人の医療情報などが紐づけされていることは、命にかかわる重大問題で中止すべきと考えるが、次の項目について伺う。 (1) 町のマイナンバーカードの申請と交付状況 (2) 返納など苦情の状況 (3) マイナンバーカードと保険証の一体化を中止か継続かどのような考えか伺う。</p>
<p>6 9番 島田 政志 1 第8次上富良野町農業振興計画について (町 長)</p>	<p>農業経営者の一人として、第8次上富良野町農業振興計画についてお聞きしたい。 (1) 「施策の展開」の進捗はどのようなものか。 (2) 効果は出ているのか。出ているとすればどのような効果なのか。 (3) あまり進んでいない施策はあるのか。 (4) 計画の見直しはしているのか。 (5) 今、直面している課題はあるのか。</p>